

氏名	金野 倫子	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	老年精神医学、睡眠医学、精神病理学、女性心身医学				
学位	博士(医学)				
学歴	1990年東北大学医学部医学科卒業				
経歴	2014年10月～日本大学医学部精神医学系精神医学分野診療准教授、2017年10月～埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会(役職)	日本老年精神医学会・専門医・指導医・評議員、日本睡眠学会・評議員、日本精神神経学会専門医・委員会委員、日本女性心身医学会・認定医・評議員、日本総合病院精神医学会・専門医、認知症診療医他				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	在日ラオス人女性の母国における産後の伝統的プラクティスに対する認識と実践	共著	あり	日本健康学会誌; 85(4); P.129-140	齋藤 恵子、萱場 一則、鈴木 幸子、延原 弘章、金野 倫子、浅川 泰宏	2019.7
2	ラオスにおける産後の伝統的プラクティスの日本の産科施設での実践可能性ー埼玉県の産科医療施設看護管理者の認識ー	共著	あり	日本保健福祉学会誌; 25(2); P.3-17	齋藤 恵子、鈴木 幸子、延原 弘章、金野 倫子、萱場 一則	2019.8
3	双極性障害の概日リズム障害仮説	単著	あり	精神科治療学; 34(10); P.1107-1114	金野 倫子	2019.10
4	光と加齢・認知症	単著	あり	精神医学; 61(8); P.915-926	金野 倫子	2019.8
5	Sleep disturbance is associated with not only shorter sleep duration but also longer time in bed	共著	あり	Sleep and Biological Rhythms; 17; P. 407-415	Masahiro Suzuki, Ryuji Furihata, Chisato Konno, Michiko Konno, Yoshitaka Kaneita, Takashi Ohida, Yasuhiro Gon, Makoto Uchiyama	2019.6
6	喜ばしき老年精神医学【巻頭言】	単著	なし	老年精神医学会雑誌; 30(11)P. 1193-1194	金野 倫子	2019.11
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	ECTの標準化に向けて 我が国での電気けいれん療法(ECT)の現況 日本精神神経学会ECT・rTMS委員会の全国調査から	共同		日本精神神経学会学術総会、新潟	○鮫島 達夫、野田 隆政、金野 倫子、神出 誠一郎、一瀬 邦弘、橋本 学、本橋 伸高、澤 温、和田 健、水野 雅文	2019.6
2	嗜癮傾向評価尺度の妥当性と関連する心理的特徴に関する検討	共同		アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会、札幌	○田中 健一、佐藤 晋爾、金野 倫子	2019.10
3						
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター・協力研究員					2019.4～現在
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
2						
3						

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	心の健康	○	15	人間の精神活動を多角的に捉える視点を提示し、双方向性講義を試みた。
2	精神医学	○	15	精神医学の知識が系統的に蓄積できるように精神医学診断体系や治療の中心となる考え方を明確に示しながら講義を進めた。また、精神症状や、精神疾患についてより具体的なイメージを持って検討できるようにイラストや動画を活用した。
3	精神医学概論	○	8	精神医学診断体系や治療の中心となる考え方を明確に示しながら講義を進めた。また、精神症状や、精神疾患についてより具体的なイメージを持って検討できるようにイラストや動画を活用した。
4	精神保健学	○	15	精神保健学のキーワードとなる精神医学や心理学の概念、統計データの捉え方について詳しく解説し、その上で現代における精神保健学上の問題点をライフサイクルに沿って解説した。
5	精神医学Ⅱ	○	15	精神保健学のキーワードとなる精神医学や心理学の概念、統計データの捉え方について詳しく解説し、その上で現代における精神保健学上の問題点をライフサイクルに沿って解説した。
6	老年学(1コマ)		1	「年をとると丸くなる」は本当か」をテーマとして、加齢に関連する脳と心の変化を解説し、器質性精神障害との関係について論じた。
7	理学療法特別演習(1コマ)		1	国家試験を踏まえて、これまでの精神医学的知識を整理し、図解を活用し理解を図った。
8	臨床精神医学と保健医療福祉	○	15	臨床の場で精神医学がこれまで培ってきた視点や理論がどのように役立つかについて検討・解説を行い、またこれらの枠組みには今後のどのような課題があるかについて検討、討論を行い、受講者の理解を図った。
9	高次脳機能と病態制御		6	古くて新しいジャクソニズムの視点から、異常精神現象と高次脳機能の共通構造を取り出し、研究や治療における新たな取り組みを志向する際に役立つ視点を解説した。
10	精神保健支援論	○	6	学生の研究課題に関するディスカッションを通して、各学生における精神保健支援の視点の涵養を図った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW演習		2019年度後期	多職種連携について症例を検討しつつグループワークを指導した。次年度のIPW実習にスムーズにつながるよう、能動的に情報を収集する必要性への気づきを促した。
2				
3				
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW実習		2019.9	実習において、ケースの細やかな検討と正確な把握がIPWにおける問題解決においても不可欠であることへの気づきを図った。
2				
3				
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1			主指導	副指導
2	修士論文		主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 1名
3	博士論文		主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	日本大学医学部5年次臨床講義(1コマ)	2019.5	「認知症を遠ざける」物忘れを主訴とする疾患の鑑別について解説し、脳の加齢性変化と認知症の関係、発症予防と認知予備能についての講義を行った。	
2	日本大学医学部4年次講義(3コマ)	2019.11	「せん妄」、「アルツハイマー病とは何か」、「様々な認知症」の講義を通して、器質性精神障害、老年期精神障害が系統的に理解できるよう、図解、映像を利用して解説を行った。	
3	日本大学医学部大学院講義(1コマ)	2019.7	「主観的体験の構造」というテーマで、ごくりふれた体験が脳の機能や特定の環境に支えられて初めて成立するという点について解説し、「意識」についての学問的取り組みの現在を示した。	

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	埼玉県立大学一般公開講座	埼玉県立大学	「職場のメンタルヘルス・ストレス・うつ・睡眠」
2	平成31年度彩の国いきがい大学	公益財団法人いきいき埼玉	「加齢による身体と心の変化－精神医学の立場から－」
3	令和元年度福祉サービス苦情解決セミナー	埼玉県社会福祉協議会	「精神障害の理解－病める心に向き合う心－」
			開催年月
			2019.5
			2019.5
			2018.5
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	厚生労働省厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会	臨時委員	2019.11～
2	埼玉県運営適正化委員会苦情解決合議体	委員	2017.11～現在
3	埼玉県運営適正化委員会運営監視合議体	委員長代理	2018.3～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会委員	
2	全学的委員会及びセンター業務等	障害学生アドバイザー	
3	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携を学ぶ講座実施部会	
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		